

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3891300075
法人名	医療法人 明生会
事業所名	グループホームこもれびの家
所在地	愛媛県四国中央市下柏町5 4 番地 1
自己評価作成日	H 2 2 年 2 月 1 8 日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

広い窓から四季の風景を眺めることができ、天候や自然の移り変わりがよくわかり、ウッドデッキとゆったりとした環境の中「いつも一緒・楽しく・ゆっくりと」「人と人の結びつきを大切に」を心がけ利用者様と共に生活しています。季節の食材を使いバランスのとれた食事・季節感を味わって頂けるおやつなどを一緒に作り食を楽しんでいます。学習療法の取り組みを行っています。地域の行事・ボランティアの方々の訪問を大切に交流を行っています。母体が病院でいつでも受診でき、健康面も安心して生活が送れています。

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年3月25日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

年度末、職員全員で理念について話し合い、地域や家族等との関係を深めていきたいと考え「人と人の結びつきを大切に」を追加された。理念を、玄関や事務室の目に付くところに掲示し、日々の業務の時々に見て、意識を高めるようにされている。  
年4回、家族会を行っておられ、「認知症について」資料を用いて理解を深めていただいたり、「看取りについて」話し合われた。ご家族から「認知症の方の不安や感情等がわかった」との感想をいただいたり「利用者の気持ちの安定や意欲につながるので学習療法を採り入れてはどうか」との提案があり、現在、3名の利用者が取り組まれている。

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 該当するものに 印	項 目		取 り 組 み の 成 果 該当する項目に 印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. <b>利用者の2/3くらい</b> 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. <b>家族の2/3くらい</b> 3. 家族の1/3くらい 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. <b>数日に1回程度ある</b> 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. <b>たまに</b> 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. <b>利用者の2/3くらい</b> 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)	1. 大いに増えている 2. <b>少しずつ増えている</b> 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. <b>利用者の2/3くらい</b> 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目：11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. <b>職員の2/3くらい</b> 3. 職員の1/3くらい 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. <b>利用者の1/3くらい</b> 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. <b>利用者の2/3くらい</b> 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. <b>利用者の2/3くらい</b> 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. <b>家族等の2/3くらい</b> 3. 家族等の1/3くらい 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. <b>利用者の2/3くらい</b> 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない			

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームこもれびの家

(ユニット名) \_\_\_\_\_

記入者(管理者)

氏名

加地正子

評価完了日

平成22年2月18日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>.理念に基づく運営</b>				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 職員全員で話し合い理念をつくり、職員はもとより訪問者の目にも止まりやすい位置に掲示している。月に一度のミーティングでも確認し、その都度原点に戻り理念に沿って支援するよう心がけている。	
			(外部評価) 年度末、職員全員で理念について話し合い、地域や家族等との関係を深めていきたいと考え「人と人の結びつきを大切に」等、一部変更された。理念を、玄関や事務室の目につくところに掲示し、日々の業務の時々に見て、意識を高めるようにされている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 自治会に入り利用者と回覧板を次のお宅に届けたり、運営推進会議などで地域の行事を教えて頂き、利用者が楽しめる行事には出かけているが、近所の決まった人達との付き合いで利用者個々が地域の中で生活を拓けて行くことは難しい。	
			(外部評価) 近隣の方から季節の野菜をいただいたり、時には手作りのおはぎ等をいただくこともある。又、野菜苗を分けていただき、育て方を教えてもらうこともある。地域の「公民館祭り」では、展示物を見学されたり、バザーを楽しまれた。大正琴の演奏や舞踊・マジックショー等のボランティアの方が事業所に来て楽しませてくれる。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 運営推進会議や家族会等を活用し、認知症の人の理解を深めていただけるよう働きかけているが、地域への貢献はできていない。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ホームでの生活状況や問題点等の報告や話し合いを行い、助言や地域の情報を得ている。頂いた意見を取り入れサービス向上に努めている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>会議には、利用者・ご家族・消防団員・近隣の方・民生委員等のいろいろな立場の方の参加があり、「防火について」「外部評価について」「認知症について」等、議題に挙げて会議をすすめておられる。ご家族の方から職員の異動や火災時の対応等についても質問が出されている。新年会で利用者と共に食事をしたり、事業所の様子を見ていただくような機会も時には作っておられる。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>月に1回ふれあい相談員さんの訪問がある。運営推進会議に高齢介護課の方が参加してくれてる。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議時、市の担当者から、介護保険制度や市が取り組んでおられる「認知症地域支援体制構築推進事業・介護相談」について説明していただいている。毎月、介護相談員の訪問があり、利用者のお話を聞いて要望等を聞き取ってくださっている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>職員は身体拘束について理解しているが、職員が少なく、見守りが不十分になると判断した場合は、やむを得ず玄関に施錠している。家族会、運営推進会議でも話し合い施錠の理由を説明し理解していただいている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>気ままに外出される方もあり、一時は玄関に施錠することもあったようであるが、職員がご本人に寄り添い、よくお話を聞くことで落ち着いたようなケースもある。玄関は出入り時にチャイムがなるようになっており、職員の見守りや声かけで施錠することも少ないようである。近くのコンビニやドラッグストアに利用者とともに挨拶に行き、顔を覚えてもらえるようにして、利用者が道に迷った時等に連絡いただけるようお願いされている。職員は、外部研修や内部研修で身体拘束について勉強されている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 研修に参加しミーティングで報告、学ぶ機会を持っている。常に更衣時や入浴時に異常がないか気をつけている。小さな気づきも日誌などで申し送り職員間で情報を共有している。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 権利擁護に関する制度の理解はできている。現在活用されている方はいない。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時に重要事項説明書などで説明を行い、理解、納得を得ている。また不安や疑問点を聞き取り説明している。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 面会時や家族会などに気軽に話せるような雰囲気づくりに努めている。苦情については、書類に記し、管理者会議で報告し反映に努めている。 (外部評価) 年4回、家族会を行っておられ、「認知症について」資料を用いて理解を深めていただいたり、「看取りについて」話し合われた。ご家族から「認知症の方の不安や感情等がわかった」との感想をいただいたり「利用者の気持ちの安定や意欲につながるので学習療法を採り入れてはどうか」との提案があり、現在、3名の利用者が取り組まれている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ミーティングで意見や提案を話し合ったり、個々の面接を通して聞く機会を設けている。そこで出た意見や提案は、法人のミーティングで伝え反映されている。 (外部評価) 職員から「ご家族に認知症のことを知ってもらってはどうか」と提案があり、家族会で行い、ご家族の認知症の理解も深まったようである。又、掃除や食材の買い物等の業務も職員の気付きや意見を採り入れて、改善していくようにされている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 半期ごとに自己目標を掲げ自己評価を行っている。それにより努力や実績を把握し、施設長が給与水準を上げるべく働きかけを行ってくれている。業務内容の見直しは職員間で話し合い行っている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 資格修得の支援をしてくれ、研修にも参加させてくれる。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 外部研修に参加し、同業者と交流の機会を持っている。相互研修で得た情報は、ミーティングなどで報告し話し合いサービスの向上に努めている。	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 本人、家族から多くの情報と想いを聴くように努めている。入居後は日々の関わりを大切に、信頼関係が築けるよう、寄り添いを大切に、言葉や表情の変化を見逃さないように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 職員全員が面会時など家族と話しやすい雰囲気づくりに努めている。相談を受けた時は、傾聴し丁寧に対応し受け止めるようにしている。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 入居前の様子の情報収集を行い、職員間で協議し、見極め本人や家族の希望等を交えたサービス提供が出来るように努めている。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) ミーティングで話し合い、利用者の得意なことを見つけてお願いしたり、時には教えてもらったり 共に楽しく生活できるように努めている。	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族の面会時には近況報告をし、通院、家族会、誕生日の参加を呼びかけ、共に支えていく関係を築いている。また利用者が不安になっている時なども連絡して協力を得ている。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 本人や家族から情報を得て馴染みの人に連絡し、誕生日を一緒に祝ってもらったり関係が途切れないように努めている。	
			(外部評価) 以前お世話になった病院の方にお手紙を出したり、結婚されたお孫さんにお手紙を出される方もサポートされている。又、利用者が、以前より利用されている美容院にご家族とともに出かけ、懐かしいお話を楽しまれたりされている。お孫さん・ひ孫さん等、親族の方が来られた際、職員は、居室でお茶を飲みながら、ゆっくりお話しができるように環境作りをされている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) その日の様子を観て、ソファに座る位置など配慮し寛げる雰囲気を作ったり、必要に応じて食堂の座席を考えゆったりと食事が出来るように支援している。一人ひとりを理解し、その時々のお思いに合わせた関わりを持ち孤立しないようにしている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 同法人のグループホームに移られた方とは、行事(そうめん流し・芋掘りなど)に招いたり交流している。また入院した場合には、お見舞いに行ったり出来るだけ関係を持つよう心がけている。	
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の関わりの中で本人の思いを知り、ミーティング等で話し合い、暮らし方の希望や意向の把握に努めている。	事業所では、さらに、ご本人とかがわる「職員の気付き」の欄の情報を活かして、思いや意向の把握にさらに努めて、利用者主体のケアの実践に取り組んでいきたいと考えておられた。
			(外部評価) 「自室でゆっくりテレビが見たい」と言われる方には、リモコンの文字盤を大きいものに取替えて、ご自分でチャンネルを替えられるようにされていた。介護記録は「ご本人の訴え・行動・ことば」「職員の気付き・対応」の欄を設け、職員が利用者個々の思いや意向が把握しやすいようにされていた。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 日々の生活の会話での聞き取りや家族や親類の協力で得た情報を、職員間で共有するように努めている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 日々の生活の中で、小さな変化を見落とさないように、現状の把握に努め、介護日誌、介護記録に記入し申し送っている。	



自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>家族の面会時、家族会や運営推進会議の後、時間をつくり話し合い情報を得、本人やご家族の希望に添うようミーティングで話し合い介護計画を作成している。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>介護計画について、毎月ミーティング時に評価を行っておられ、3ヵ月毎に見直しされている。見直しの際には、ご家族の要望をお聞きして、必要時には、主治医の食事のアドバイスを計画に採り入れておられる。ご家族の要望を受け相談しながら学習療法を採り入れられたり、「息子に会いたい」と希望される利用者の思いを踏まえて、ご家族との連絡等、マネージメントして暮らしを支えておられる。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>気づきや工夫は介護記録や介護日誌に、それとは別にケアプランの達成状況を日々記録しているので職員間で統一したケアの実践ができ、介護計画の見直しにも活かされている。(介護記録の様式を変更し気づきや考察が書けるようにした。)</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人や家族の状況に合わせて柔軟な対応が出来るよう心がけている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>法人のグループホーム・通所介護と交流があり時々利用している。また学生ボランティア、地域の方の慰問の協力を得ている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価)  本人・家族が希望するかかりつけ医にて受診してい る。また専門医の受診が必要な時は相談に乗れるよう 努めている。	
			(外部評価)  利用者はそれぞれ、以前からのかかりつけ医にご家族 が付き添い受診されている。受診時には、ご本人の日 頃の様子を記入した「個人ノート」を持参して医師と 連携されている。緊急時等は、協力医が24時間体制で 対応してくれるようになっており、かかりつけの歯科 医が、義歯の調子を見に来てくれるようなこともあ る。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価)  近隣の通所介護の看護職員に相談し、適切な受診や看 護が出来るよう支援している。	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価)  入院時には情報を提供し、早期退院が出来るよう連絡 を取り合っている。職員も面会に行き不安解消に努め ている。	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)  早い段階で本人、家族の意向を大切に、主治医とも相 談「できること、できないこと」を見極め支援に取り 組んでいきたい。(重度化・終末期について家族会で 話し合った)	
			(外部評価)  ご家族の協力があれば、事業所で最期まで支援するこ とは可能であることを、入居時の説明時や家族会でお 話しされている。現在、医療行為が必要になれば、病 院に入院することを希望されるご家族が多いようであ る。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 法人の勉強会にて消防署の方の協力を得、緊急時の対応について訓練することが出来た。今後も定期的に行えるようにし実践力を身に付けたい。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年2回防火訓練を行っている。地域の消防団員の方が施設を見学に来て下さり、連絡先を教えて頂いた。	
			(外部評価) 今年2月にスプリンクラーを設置された。避難訓練は、日中の火災を想定して行っておられ、利用者とともに玄関から避難する訓練や、近くの法事業所から応援に駆けつける等の訓練をされた。煙草を吸う利用者の方は、職員が煙草やライターを管理し、喫煙場所も決めておられる。	5月には、消防署の協力を得て夜間を設定した避難訓練を行う予定となっていた。地域の方にも参加していただくようになっている。利用者、職員の安心と安全に向けて、地域の方達とも協力し合いながら、より具体的に避難訓練をすすめていかれてほしい。
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 職員間で話し合い、プライバシーを損なわない言葉かけや対応を心掛けている。時に職員のペースになっていることがあり注意したい。	
			(外部評価) 調査訪問時、職員は、利用者の様子を見ながら配膳のお手伝いをお願いしたり、親しみのある地元の言葉で会話されていた。日頃から指示的な声かけや、大きな声にならないように気を付けているが、事業所では「時に、急がせるような声かけになる場合もあるのでないか」と感じておられ、事業所では、月一度のミーティング等で、利用者個々の「誇りや尊厳保持」について話し合われている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 本人の思いや希望を表したり、自己決定出来るよう、声かけなど工夫している。日々の関わりの中で思いを酌み取るように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 無理な声かけはせず出来るだけ利用者の希望に沿った支援に努めているが、職員の勤務人数により、業務に追われ職員側の意向をあおることがある。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 家族の協力を得ながら馴染みの理容・美容院へ行っている。毎日お化粧される方や髭そりをされる方、外出時に洋服を着替えるなどその人らしい身だしなみが出来よう支援している。またヘアブラシなど手近に設置している。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 畑と一緒に収穫した野菜や近所の方から頂いた野菜を使うことが多く、季節を取り入れたメニューや行事のメニューと一緒に作り楽しんでいる。利用者一人ひとりの力を活かしながら、一緒に調理から片づけまで行っている。	
			(外部評価) パンの好きな方がおられ、週に1度、朝食のメニューにパンの日を設けておられる。食堂を経営されていた利用者の方が、巻き寿司を巻いてくれたり、巻き方のコツを教わったりされている。又、野菜を切るのが得意な方もいるようだ。調査訪問時には、配膳をされている利用者の方がうかがえた。午前中のティータイムには、コーヒー・生姜湯等、お好きなものをご自分で飲んで飲めるようになっている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養士が献立をたて、それに沿って調理している。食事量や水分摂取量を記録し、不足している場合はおやつなどで補えるよう支援している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後、口腔ケアを行い、歯ブラシを柔らかいのに変えたり、一人ひとりに応じたケアを支援している。義歯は毎夜、消毒している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 排泄パターン表を活用し、定期的なトイレの声かけにより失敗しないよう支援している。終日紙パンツを使用していた利用者も日中は布パンツに移行し気持ちよく生活できるよう支援している。	
			(外部評価) 職員全員で、利用者の排泄パターンが把握できるよう記録等に努めておられ、定期的な声かけや利用者個々の様子をみてトイレ誘導されている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 毎食事にお茶ゼリーを付け食物繊維を多く取り入れるよう工夫している。便秘の方には、のむヨーグルトをプラスして飲んでいただくなど工夫している。服薬は便の状態に合わせて調整している。	
			(外部評価)	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 日曜日・イベントのある日以外は入浴できるようにしている。個々の曜日や時間帯は決めていないが、声かけのタイミングや言葉を選ぶことで無理強いをせず、入浴して頂けるよう支援している。	
			(外部評価) 事業所は午後からの入浴となっており、好みの入浴剤を入れて「温泉みたいやなあ」と喜ばれる利用者もいる。又、入浴時の職員との会話を楽しみにされている利用者もある。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 個々の体調や状況に応じ居室や和室で休息できるようにしている。馴染みの布団や枕を使用。その時々状況に応じ、寄り添ったり、温かい飲み物、アンカを使用するなど安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個々に薬剤情報をファイリングして、いつでも確認できるようにしている。変更があるときは日誌で申し送り、症状の変化に注意している。必要に応じて主治医に相談している。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 生活歴や趣味などを活かし個々の能力を発揮出来る場面を提供できるようケアプランに設定し全職員が共通意識を持って支援できるように心がけている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 勤務体制により希望に沿えない時が続くこともあるが、出来る限り実現させようと努力している。お花見・紅葉・地方祭など外出の機会を作っている。お正月・お盆など家族の協力も得られている。	
			(外部評価) ご家族と図書館に本を借りに行かれる方や職員と自室に飾る花を買いに行かれる方、タバコをコンビニに買いに行かれる方もある。季節の花を楽しみに出かけた時にはお弁当を持って出かけることもある。	事業所では、さらに外出して楽しむような機会を増やしていきたいと考えておられた。「ご家族と一緒に「お花見」や「ご家族と温泉旅行等にも行きたい」と考えておられた。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 本人の希望により財布を所持している方もいる。散髪や嗜好品の買い物など希望に沿って本人の財布から支払えるよう支援している。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 本人の希望に沿って支援できている。特に希望が無い方にも、年賀状や暑中見舞いを書いていただいたり、プレゼントが届いたときはお礼の電話をかけていただくよう働きかけている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>トイレの場所が分かるように名札を掲げ、季節の花やお雛様、五月人形、クリスマスの飾りつけなどを行い季節感をかもしだしている。カーテン、加湿器にて光や湿度の調節の工夫をしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居間には、雛人形や季節のお花を飾り、利用者のご自宅や、今までに出かけた場所等を示した「マップ」を貼って話題にされている。居間にある畳の部屋に腰掛けて、利用者同士でお話されている様子がうかがえた。居室までの廊下には行事の写真等が飾られ、利用者の方が時々見て楽しまれている。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>カウンターを利用して気の合う利用者同士でミニカフェ、座敷の障子を閉めると人目を気にせず昼寝ができるようになってきている。暖かい日にはウッドデッキで日向ぼっこも楽しめる。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>利用者の馴染みの物、家族の写真、位牌など持ち込まれ居心地よく過ごせるように工夫している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>お位牌を持ち込まれている方は、毎日ご自分でお茶を供えることができるよう支援されている。各居室には、ご自分で買って来られたお花を生けておられたり、ご家族の写真が飾られている方もいる。男性の利用者は、電気カミソリやお気に入りの化粧品を持ち込まれていた。自室の冷暖房を自身でされる方のためにリモコンの電源等に印を付け、押すところがわかりやすいようにされていた。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>居室前に名前と写真を掲示し、廊下やトイレなどには手すりがある。一人ひとりの出来ることを把握・理解し安全に生活できるよう支援している。</p>	